

2017 全日本ロードレース 第8戦 スーパーバイクレース in 岡山

Result

予選タイム	グリッド	周回	所用時間	トップ差	ベストタイム	順位
1'30.977	19	24	36'44.068	1'10.517	1'31.011	15

Setting Data

日付	2017年10月1日 (日)		時間	13:55 ~		イベント	2017MFJ全日本ロードレース選手権第8戦				
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000R L7		ライダー	今野由寛 Yoshihiro Konno				
コース	名称	岡山国際サーキット				気温	27 °C				
	コンディション	DRY				気圧	998 hpa				
	路面温度	41 °C		(計測時間 13:30)		湿度	23 %				
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10				エンジンOIL	SUNOCO REDFOX 10W-40				
	ファイナルレシオ	15 × 46		(3.066)		チェーンリンク数	RK GC520XUWR 118 リンク				
トランスミッション	1st	A (36/17)		2.12		4th	B (31/21) 1.48				
	2nd	A (37/20)		1.85		5th	C (30/25) 1.36				
	3rd	B (36/22)		1.64		6th	C (32/25) 1.28				
フロント	パーツ名	SHOWA BFF (STDフォーク)				TEN	-4 段				
	スプリング	9.75		N/m		OIL	SNR7				
	トップアウトスプリング	2	N/mm	80	mm	油面	240 mm				
	イニシャル	10		mm		残ストローク	— mm				
	COMP	-3		段		突き出し	トップブリッジ上端面からの突き出し量+5 mm				
リア	パーツ名	SHOWA BFF (STDショック)				リンク	STD				
	スプリング	98.1		N/m		リンクロッド	142 (STD) mm				
	トップアウトスプリング	-	N/mm	-	mm	車高	STD+ 0 mm				
	イニシャル	8		mm		ピボット位置	0 mm				
	COMP	-10		段		スイング長	616 mm				
	TEN	-10		段		残ストローク	— mm				
タイヤ	フロント					リア					
	銘柄	ブリヂストン RACING BATTLEAX V02				銘柄	ブリヂストン RACING BATTLEAX V02				
	サイズ	120/60R17				サイズ	190/65/17				
	エア圧	1.8				エア圧	1.4				
チェック	順位	15				ベストラップ	1' 30"977				
	水温	°C				油温	°C				
	ガソリン	IN	-		ℓ		走行距離	km			
		OUT	-		ℓ		燃費	km/ℓ			

<コメント>

皆様こんにちは！

朝晩はかなり冷え込んできている感じがしてもう秋になっているんだなと実感する岡山国際サーキットです。

今回から2017年モデルのGSX-R1000Rでの参戦です。

基本ベース車両はスタンダードです。KITパーツの開発も兼ねています。

足回りもSTDベースですので今回のデータは参考になるかと思えます。

変更箇所はFRPカウル、バネレート(STDレートはFが10.25N、Rが115N)、ミッション、ファイナルレシオとKITハーネス、ECU。

安全のためにブレーキ周りはJSB用を使用しています。ローターはブレンボ製Φ305mm厚み6mmです。

さて今回は事前テストがあり、STDハーネスでのスタート。サーキットを走るうえでの基本的なエンジンブレーキ、

トラクションコントロールの制御やシフター、オートブリッピングの設定などをしていきます。

車体は車高が高い状態からスタートしましたがフロント荷重が多く、車高は徐々に下げて結局STDと同じになりました。

突き出し量はSTDがトップブリッジ上端面から16.3mm突き出した状態から11mm突き戻した状態になりました。

レースウィークに入りパーツが揃いリヤのバネレートを下げていくことが出来たので120リンクまで伸ばしていた

チェーンを118リンクへ戻します。

このウィークは天気が安定していたので路面に合わせたバネレート変更をする程度でした。

しかしロガー上でサスストロークセンサーの測定が出来ないとセッティングの方向性も見つけにくいと改めて実感しました！

予選は今野選手が気合で1'30.977で19番グリッドを獲得。

翌日決勝も晴天！24週のレースがスタート！一周目は19番手で通過。その後プッシュし続けるも前方の集団を

抜くことが出来ず15位でチェッカーを受けました。

タイヤがグリップする状態と少しこなれてきた状態では制御も変更する必要があるかもしれません。

今回のレースでデータはたくさん収集出来ましたので、次回鈴鹿ではそれを反映させたものを持ち込みたいと思います。

いよいよ最終戦鈴鹿です！車両も少しレベルアップして臨めるように準備します。

今回も多くのご協力いただきました御協賛各社様とファンの皆様にお礼申し上げます。

それでは皆様鈴鹿でお会いしましょう！

Sサプライでもレースの情報をリアルタイムに発信していきます。もしよければご覧下さい。

S SUPPLY Facebook <http://www.facebook.com/pages/S-Supply/452966391546855>

S SUPPLY twitter @SSUPPLY\_\_

(株)Sサプライ  
畑中 健太郎

